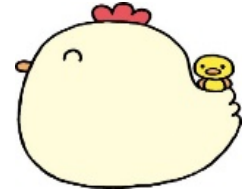




## 高田病後児保育所「ぬくみ」 掲示板



### 【11月のテーマ】 インフルエンザ

高田病後児保育所スタッフより

冷え込みが一段と厳くなる季節となりました。これからさらに寒く乾燥する冬は、ウイルスが元気になる季節でもあります。今月は『インフルエンザ』についてのご案内です。

#### ☆『インフルエンザに感染すると・・・』

感染すると、1～3日間の潜伏期間のあとに発症し高熱が出て、ぐったりします。また頭痛、全身倦怠感、関節痛、筋肉痛など、全身の症状が突然現れ、喉の痛み、鼻水、咳などの症状も見られます。発症後すぐに検査した場合は、インフルエンザであっても陰性とでることもあります。

#### ☆『インフルエンザの治療・静養』

インフルエンザに対する治療薬としては、抗インフルエンザウイルス薬がありますが、医師の診断によって治療します。また12歳未満の小児は、慎重に投与が必要です。

静養中は、水分を十分に取って安静にしてください。高熱が続くときや異常行動、けいれんを起こすなどの症状がある場合は、病院に再度受診してください。

#### ☆『登園・登校について』

学校保健安全法によると、幼児は、「発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日を経過するまで。」小学生は、「発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過するまで。」が、出席停止の目安とされています。お子さんが通われている園や学校に詳しくは確認をしてください。

#### ☆『感染対策について』

感染対策として、ワクチン接種、マスクや手洗い・うがいなどを行い、流行期にはなるべく人混みを避けましょう。

空気が乾燥すると、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50～60%)を保つことも効果的です

#### ☆『インフルエンザ予防接種のシーズンです！！』

13歳未満の子どもの場合は、1シーズン2回接種が標準です。接種してから、2週間以上たないと効果が現れないので、接種するかたは、12月の流行期に入る前に済ませるようにしましょう。ただ、アレルギーのあるお子さんの場合、受けられないこともありますので医師と相談してください。

